

2025年度年末手当妥結

国労水戸

労働組合の役割が重要

JR東日本は11月11日、2025年度年末手当の回答を示された。国労の要求に届いてない。付帯要求に応じてないと持ち帰り検討し、翌日、妥結・整理をしました。

国労東日本本部は10月10日に3・2ヶ月+10万円の要求を提出しました。賃上げはあつたが物価上昇に追いついていない。5期連続増収と社員の努力に応じてほしいと3回の交渉を行いました。

JR東日本は3・0ヶ月（業績・経営状況判断）+0・1ヶ月（勇翔2034の実現に向けて社員が一丸となつて取り組みが始動）の回答を示された。今後期末手当について、来年4月以降、「役割遂行賃金」が基礎となり基準内賃金での比較となります。継続的に安定な生活をする上で労働組合が必要になってきます。

2025年度年末手当回答

3・0ヶ月+0・1ヶ月

（昨年、2.8ヶ月+0.1ヶ月）

支給日予定 12月3日（水）

国鉄労働組合
水戸地区本部
水戸市三の丸
3丁目1-1
029-221-4008
発行責任者
堀 正人
編集責任者
坂下 司

声かけて
仲間とTUNAG
拡大へ



戦後80年
平和憲法のつどい
11月3日、水戸市内において、前川喜平さん（現代教育行政研究会代表）から「日本国憲法と教育」と題して講演会が開催されました。改憲によって明治政府が作った国家主義に戻そうと右傾化しています。排外主義は参議院選に現れています。押しつけの道徳でなく、教員は中立な立場で指導しなければならぬ。生徒には考える、疑う、騙されない教育が必要です。

QRコード



国労水戸地区本部ホームページ



国 労 水 戸

検索

<https://nrumito04.wixsite.com/kokurom>